

事業コード	H23-建-新-01		区 分	国庫補助	県単独
事業名	地方街路交付金事業		部局課室名	建設交通部 都市計画課	
事業種別	現道拡幅		班 名	都市整備班 (tel) 018-860-2444	
路線名等	都市計画道路 久保田古館線		担当課長名	阿部喜巳	
箇所名	鹿角市花輪(横丁工区)		担当者名	佐藤幸悦	
総合計画との関連	政策コード	17	政 策 名	新たな生活圏の創造	
	施策コード	01	施 策 名	街なか活性化による賑わいの再生	
	指標コード	02	施策目標(指標)名	街なか居住の促進	

## 1. 事業の概要

事業期間	H24 ~ H28 (5年)		総事業費	8.5億円	国庫補助率	0.70	
事業規模	延長L=231m 幅員6.0(16.0)m						
事業の立案に至る背景	<p>(都)久保田古館線は、鹿角市久保田地区と鹿角市古館地区を連絡する東西間の基幹道路である。沿線に公共施設(鹿角市役所花輪支所、鹿角市保健センター等)、近くに花輪小学校があり、歩行者・自転車交通量が多い。しかしながら、狭隘で歩道が無く危険な状況となっている。</p> <p>また、沿線の鹿角組合病院跡地において、鹿角市で(仮称)学習文化交流施設を整備中であり、鹿角市と役割分担の上、東西軸の整備を図りたい。</p>						
事業目的	<p>現況(H23)：交通量6,504台/日、歩行者445人/12h、自転車208台/12h</p> <p>バス交通を含めた都市内交通の円滑性確保 中心市街地の活性化</p> <p>通学路の安全確保と地域住民の安全性向上 公共公益施設へのアクセス向上</p> <p>緊急輸送道路としての機能確保</p>						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度以降
	事業費		850,000	10,000	34,000	320,000	486,000
	経費 内訳	工事費	110,000				110,000
		用補費	695,000			320,000	375,000
		その他	45,000	10,000	34,000		1,000
	財源 内訳	国庫補助	595,000	7,000	23,800	224,000	340,200
		県 債	193,800	2,200	7,700	72,900	111,000
その他		51,000	600	2,040	19,200	29,160	
一般財源		10,200	200	460	3,900	5,640	
事業内容		道路改築 L=231m	路線測量 詳細設計	用地測量 建物調査	用地補償	道路改築 用地補償	
調査経緯	都市計画決定済(H3.7.9) H16 道路予備設計、H19 交差点設計、H21 費用便益比分析						
上位計画での位置付け	都市計画マスタープランに位置付けあり。						
関連プロジェクト等	(仮称)学習文化交流施設建設事業(H23~H27)事業主体：鹿角市						
事業を取り巻く情勢の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>(仮称)学習文化交流施設建設事業に着手</li> <li>久保田橋の架け替え(H22.11供用開始)</li> </ul>						
事業効率把握の手法	指標名	都市計画道路整備率					
	指標式	整備済み延長/都市計画決定延長					
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無		
	目標値 a	57 %		データ等の出典	秋田県の都市計画		
	達成値 b	57 %					
	達成率 a/b	100 %		把握の時期	平成22年 4月		

2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 ( 特 記 事 項 )	評 価 点
必 要 性	1車線道路(車道幅5.0m)で歩道もないが、現況交通量は、6,504台/日と多く、かつ歩行者445人/12h、自転車208台/12hと多いため、車道の拡幅及び歩道の設置が必要である。	34点
緊 急 性	特に交差点部が危険な状況であり、地元から強い要望があるが、交差点部が狭いため、交通信号機の設置が出来ない状況である。	11点
有 効 性	付近は商店街となっており、中心市街地の活性化等、まちづくりへの貢献度が高い事業である。	20点
効 率 性	片側だけの拡幅であり、両側拡幅に比べ、コストが抑えられている。	8点
熟 度	都市計画決定済であり、また、事業着手前に必要な調査が全て終了している。地元説明会の際にも反対者がおらず、早期事業化を求められている。	10点
判 定	ランク ( )	83点
	判定ランク であり、事業箇所としての優先度は高く、事業を実施すべきである。	
総 合 評 価	選定 改善して選定 保留	83点
	評価結果から、事業実施箇所としての優先度は高く、事業を実施すべきである。	

3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	選定 改善して選定 保留
	当該箇所は、花輪市街地の東西間の基幹道路となっており、沿線及び付近には多くの公共施設や小学校があるが、幅員が狭小な上に歩道未設置の状況にある。交通の安全性確保の観点から、必要性及び緊急性は高く、事業実施という1次評価は妥当と判断される。

4. 財政課長意見

意見内容	選定 改善して選定 保留
	当該区間は、鹿角市花輪市街地を東西で結ぶ幹線道路であるが、狭小で歩道がなく危険な状況にある。また、学習文化交流施設(仮称)の建設や、久保田古館線の延伸が計画されており、今後の交通量の増加も見込まれる。また、片側だけの拡幅としており、効率性の面からも妥当である。

5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総合評価	選定 改善して選定 保留
	事業の実施は妥当である。

6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

事業箇所を国に新規要望する。
----------------

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。
--------------

評価種別 新規箇所評価  
適用基準名 街路事業

事業コード (H23-建-新-01 )  
箇所名 ( 鹿角市花輪(横丁工区) )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	都市計画道路の規模及び機能 道路の規模及び分類	主要幹線街路・都市高速道路 幹線街路 補助幹線街路 上記以外の補助幹線街路など	5 4 3 0	4	4車線以上かつ幅22m以上 2車線以上かつ幅16m以上 2車線かつ幅員12m以上 歩専道を含む	
	都市構造上の機能	高速交通拠点と連絡する道路・都心軸道路 放射環状道路 都心軸を補完する道路 その他の道路	5 4 2 0			4
	現況道路における問題箇所					
	交通容量不足 (現道混雑度1.0以上)	有り なし	3 0	3	バイパス・新設路線については、競合する路線を 現況路線とみなす	
	主要渋滞ポイント	有り なし	3 0			
	狭隘道路 (車道幅5.5m未満)	有り なし	3 0	3		
	線形不良・勾配不良 (道路構造令の基準に達しない道路)	有り なし	3 0			
	バス路線	有り なし	3 0	3		
	歩行者、自転車の交通量が比較的多い道 (自転車歩行者交通量500人・台以上)	有り なし	3 0			
	歩道や自歩道が無い道路 (規定幅員が確保されていない場合を含む 人身事故発生地点)	有り なし 有り なし	3 0 3 0	3		
	老朽橋梁	有り なし	3 0			
	通学路指定	有り なし	3 0	3		
	県事業としての必要性					
	道路法第3条第3号の都道府県道とし 路線認定	有り なし	5 0	5	路線認定予定路線を含む	
	計		45			34
	緊急性	関連事業の有無				
		各種プロジェクト支援 (県主要プロジェクト・地域振興プロジェクト)	有り なし	1 0	1	
		大規模イベント支援 国体・インターハイ・万博など	有り なし	1 0		
		公共公益施設アクセス 市町村役場・病院・学校・公民館など	有り なし	1 0	1	
		他公共事業関連 (街路事業以外の事業支援)	有り なし	1 0		
住宅地開発 (300戸以上又は16ha以上)の連絡道路		有り なし	1 0	0		
隣接区間の整備状況						
隣接区間の整備状況		整備済み 未整備	3 0	3		
防災機能向上への貢献度						
・緊急輸送路又は代替え路線 ・災害避難路 ・消防活動困難地域の解消路線 ・無電柱化計画		該当項目 2 以上 該当項目 1 該当項目 0	5 3 0	5		
計		13	11			
有効性	物流の高度化と交流の円滑化への貢献度					
	・高速ICアクセス ・港湾・空港アクセス ・新幹線駅又は特急停車駅等( )への アクセス (特急停車駅又は平均 乗降客2000人/日以上の駅) ・主要な観光地へのアクセス ・駅前広場の造成 ・広域道路整備計画	該当項目 2 以上 該当項目 1 該当項目 0	5 3 0	3		
	市街地の活性化とまちづくりへの貢献度					
	・DID区域内の事業 ・市街地再開発・区画整理等との連携 ・無電柱化計画 ・景観や中心市街地の特色あるまち づくりに資する事業 ・歩行者空間の確保	該当項目 2 以上 該当項目 1 該当項目 0	5 3 0	5		
	安全で快適な生活環境への貢献度					
	・バリアフリー ・二次・三次医療施設へのアクセス ・消・融雪施設の整備 ・堆雪幅の確保 ・道路緑化の推進	該当項目 2 以上 該当項目 1 該当項目 0	5 3 0	5		
	上位計画の位置付け					
	・ふるさと秋田元気創造プラン ・都市計画マスタープラン ・渋滞対策プログラム ・その他関連計画	該当項目 2 以上 該当項目 1 該当項目 0	7 4 0	7		
	計		22			20

評価種別 新規箇所評価  
適用基準名 街路事業

事業コード (H23-建-新-01 )  
箇所名 (鹿角市花輪(横丁工区) )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
効率性	費用便益比(B / C)	1.0以上	5	5	
	費用便益比(B / C)	1.0未満	0		
	計画交通量	10,000台 / 日以上	5	3	
		4,000台 / 日以上10,000台 / 日未満	3		
		1,000台 / 日以上4,000台 / 日未満	2		
		1,000台 / 日未満	0		
	計		10	8	
熟度	都市計画決定				
	都市計画決定の状況	都市計画決定済み	4	4	平成 年 月都市計画決定
		都市計画決定予定	2		
	地域のニーズ				
	地域・各種団体等からの要望・陳情・請願等	有り	3	3	
		なし	0		
地域の協力体制					
関係市町村や地域住民の協力	有り	3	3		
	なし	0			
	計		10	10	
合計			100	83	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上 ~ 80点未満		
	優先度が低い	60点未満		